

教育広報

南 会

編集・発行 福島県教育庁南会津教育事務所
 発行責任者 武口 隆行
 編集協力 市町村教委連絡協議会南会津支会
 南会津郡小中学校長協議会



『輸入中古車ライフ』

檜枝岐村教育委員会教育長

平野 好道

高校在学中に運転免許を取得し、卒業してから間もなく愛車を購入した。中古車の購入を検討していたときに祖父から「半分出すから新車にしたほうがいい」と言われ、その言葉に甘えて国産の小型車を新車で購入したのが最初だった。それから数台の国産車を乗り継ぎ、30歳を過ぎた頃から輸入車に乗るようになった。初めての輸入車は国産ディーラーでの取扱いが始まったばかりのアメ車の新車だったが、機能上のトラブルが続いたこともあり、短期間のうちに手放してしまった。その後は中古の欧州車を今でも乗り継いでいる。

アウトバーンで鍛え上げられた欧州車は走行安定性が高く、操作系は国産車より重く感じるが、それは節度のある操作感であり、古い車になればさらにそれを強く感じる。最近は輸入中古車情報サイトで新鮮で詳細な情報を入手できるようになったが、当時は数少ない輸入中古車雑誌をめぐって電話をかけても、既に売却済みというケースも珍しくなかった。輸入車というと高額な印象であるが、走行距離がある程度進んだり、年式も古くなれば国産車より値落ちが進む車種も少なくない。以前は輸入車ディーラーの敷居が高くて足が向かなかったが、近年は割と気軽に入ることができるようになった。国産車のように手がかからないようなことはないが、消耗部品を必要に応じて交換することで、古い車でも元に戻るように感じるのは私だけではないと思う。メンテナンス費用は国産車と同様とまではいかないものの、正規ディーラーだけでなく、専門ショップを利用したり、中古部品を使うことで安価に抑えることができる部分もある。

これまで国産車を乗り継いできた方でも、興味のある方は、一度だけでも「輸入中古車ライフ」を楽しんでみてはいかがだろうか。



『子供に委ね、任せてみては…』

福島県教育庁南会津教育事務所
業務次長兼学校教育課長

稲本 泰彦

「子供の成長のために大切なことって何だろう？」と考えることは、私をはじめ教職に携わっている人はもちろん全ての子供をもつ親御さん、社会教育等で子供に関わってくださっている地域の方々が、その立場立場で自問自答しながら子育てをしていただいていることと思います。その答えとしては、子供の状況や実態によってたくさんあると思いますが、「子供に委ね、任せること」も、とても大切なことの一つではないかと思えます。

全国的にもそうですが、南会津域内においては、子供の数が年々減少しています。学校においては、子供が少なくなったことにより、教師が子供一人一人と直接関わるができる機会や時間が増えるなど、教師にとっても子供たちにとってもプラスになっていることが増えたように思われがちです。しかし、子供の成長という視点から考えると実際はどうでしょう？南会津域内の大半の学校においては

もしかしたら、子供が少なくなったことで一人一人に手が回るようになったが故に、「まだ無理だから」「失敗したらかわいそうだから」「後でやり直すのは大変だから」等の理由から、教師が過度に教え込んだり、先回りしてやってあげてしまったりしていることが多くなっているのではないのでしょうか（自戒の念も含めて）？そうすることが、子供をほめる機会を減らし、子供のよさや可能性を伸ばすことの妨げになっているかもしれません。

子供たちの主体性を高め、将来の自立につなげるためにも、子供たちを信じ、「子供に委ね、任せること」を心がけ長い目で温かく見守りながら指導・支援していくことが大切であると考えます。

南会津教育事務所では、域内の子供たちのさらなる成長を願い、授業づくりの一助となるよう「自ら学ぶ子供の育成」(リーフレット)を作成しました。是非ご活用ください。